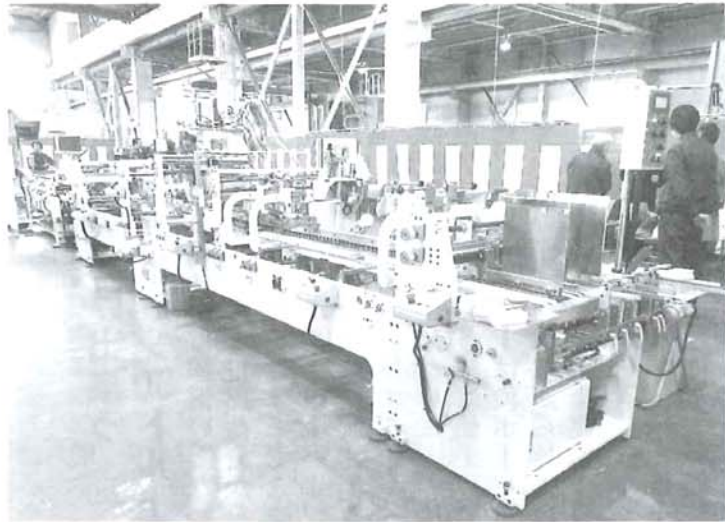


機械 日本紙工機械、新型「グルア」「ネクシア」 10年保証の耐久性、紙器向けに本格販売

日本紙工機械グループ(本社工場・茨城県北相馬郡利根町早尾2-1、電話0297-61-7117)は、2月9日～11日までの3日間、紙器向けに開発した新型サックマシン「ネクシア」の内覧会を開催、段メーカーやポックスメーカーなど約15社、50名余が見学に訪れ、ベルトなど消耗品以外を10年保証とした堅牢性、設計変更により耐久性が向上しつつ廉価、最新の制御機能搭載により操作性を格段に向上するなど、次世代型サックマシン「ネクシア」への関心の高さを伺わせた。

新型サックマシン「ネクシア」は、最も生産頻度の高いケースの生産効率化に特化しローコストで堅牢、操作性を追求したスタンダードマシン。標準機に必要な耐久性と堅牢性を備え、設計変更によりシンプル構造で廉価、しかし最新の制御機能を搭載した事で操作性とメンテナンス性を格段に向上した紙器用サックマシン。「機械の剛性」「使い勝手」「販売価格」を徹底的に見直し、ベルトなど消耗品以外を10年保証とする堅牢性を実現、サックマシンに必要な性能を維持しつつも剛性、コスト、使い勝手を格段に向上した。



新型サックマシン「ネクシア」、10年保証を実現

まず給紙部では、給紙ベルトの駆動をインバーターモーターによる単独駆動方式に変更、給紙の速度変更が簡単に行えるほか、同社のオリジナル機能として給紙ベルトの横移動・半自動方式を装備、移動させたいベルトのレバー操作だけで簡単に位置変更が可能となる新方式。また横ガイドにLMガイドを採用した事で強度が増し、速やかにスライド操作が行える。一方、プレホール下部では第一・第二セクションのスプリングフックの昇降や移動に、段ボール向けグルアで培った技術を取り入れているほか。最近では主流となっているグルーガンに加え、オプションで従来の上糊ホイールが搭載できる。この上糊ホイールのサイド糊壺には、上部が開閉するスイング方式を取り入れており、清掃作業を格段に簡素化して作業負担を低減した。このほか本折部では、従来のGMシリーズ同様に上竿が前後移動する仕様を採用しジャケット貼りにも対応、毎分400mの高速運転にも追従する。タッチパネルで容易に操作でき、自動速度補正機能により搬送速度の加減速にも追従する。高速計数カウンタを装備する。

また、製品を圧着するコンベア部の長さは標準2・6m、しかし最大3・6mまで延長できるほか、入り口側と出口側で異なった圧力調整を可能とする。このコンベア部の最大の特長は2段式圧着押さえ方式を採用し糊付けが確実、コンベア部は無給油仕様で油污れ防止にも万全な対策を取り入れている。

一方、操作・制御部では、PLC(シーケンサー)制御により多彩なカスタマイズを可能とした。給紙部に設置されているタッチパネルには、通常は運転速度が表示されるが、異常発生時や機械停止時には、どの停止ボタンが押されたかをタッチパネルで確認でき復旧作業が迅速などの特長を持つ。このほか給紙シャッターの角度調整、給紙ガイドエアアシリンター式(上下)、給紙バイブレーション(微調整可)、フック圧力強さ調整、トロンボーン加減速(操作側)機能なども装備し、ベルトなど消耗品部品を除き10年保証と業界初の試みに挑戦する。